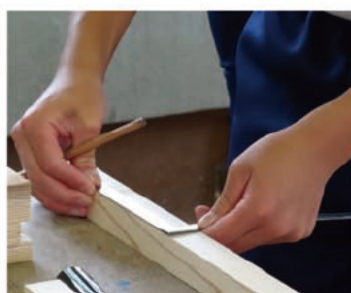


葉枯らし天然乾燥材を使ったプランターカバー作り

津市立一身田中学校国児分校



ね
ら
い

- ・ 森林のはたらきや木材利用の意義についての理解や関心を深める。
- ・ 木工製作を通して木の良さを実感する。
- ・ 県産材を使った木製品の設計と製作を通して、地産地消への実践的態度を養う。



津市立の中学校の技術科では、生産者の視点に安全・安心な生活という視点を取り入れ、様々な角度から考え製作する授業を行っています。その中で、生産者として製作するうえでの社会的責任を理解し、廃棄物やリサイクルについて設計段階で考えたり、材料には、地元の木材選ぶことが「三重の森林を守り育てる」、そのことが「災害から自分たちを守る」ことにつながるということも学び、製作に取り入れています。

一身田中学校国児分校では、この技術科の授業で、三重県産材を使った多目的用途椅子の設計と製作を行いました。

その技術科の授業の一環として、「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業を行いました。講師から、実際の林業の作業について映像やお話から学んだり、機械乾燥した木と葉枯らし天然乾燥した木の香りの違いを感じたり、なぜ香りが違うのかを教えてもらったりしました。

次に、葉枯らし天然乾燥させた美杉のスギ材を使って、プランターカバーを製作しました。

これらのことを通して、地域の木材の良さを実感するとともに、地元の産業への関心を高めることができました。また、地域の木材を使うことが、環境や安全・安心な社会の構築のために欠かせないことも学ぶことが出来ました。

プログラム概要

内容	出前授業 森林・林業のお話 プランターカバー作り 技術科 県産材を使った木製品の設計・製作
時間	出前授業 3時間 技術科の授業
場所	中学校多目的室及び木工室
対象	中学生 25人
講師	森のせんせい： 特定非営利活動法人もりずむ
備考	・「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業 ・通常の技術科授業